

# 二〇二一年度 一般選抜前期日程試験問題

## 群馬県立女子大学 文学部 総合教養学科 小論文

試験時間は、一〇〇分です。中途退室は認めません。

途中で気分が悪くなった場合は、黙って手を上げて下さい。

問題用紙はこの表紙を含めた一二頁（最後の白紙部分は下書き用）、解答用紙は二枚です。さらに、下書き用の紙（白紙）を一枚配ります。それぞれが配られたら、指示に従って、解答用紙の各々の所定欄に受験番号と氏名を記入して下さい。試験開始の合図があるまで問題用紙の表紙をめくって問題を見てはいけません。

解答用紙の所定の箇所に受験番号と氏名を記入し終えたら、静かに試験の開始を待つて下さい。



# 問 題

つぎの文章は、アメリカの社会学者であるロバート・N・ベラーの著作『心の習慣——アメリカ個人主義のゆくえ』の一節です。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

問一 「ジム・ライチャート」という人物にとって、〈成功〉と〈喜び〉とはどういったものであったか。三〇〇字以内で説明しなさい。

問二 傍線部「根本的な問題」について、本文に即して七〇〇字以内で説明しなさい。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。



こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

ロバート・N・ベラー『心の習慣——アメリカ個人主義のゆくえ』（島園進・中村圭志訳、みすず書房、一九九二）

【出題者注】

本文中、出題に関係しない原本の後注は省略した。なお、本文中の表記はすべて出典のとおりとした。

下書き用

